

血液検査学

単位数：2単位(45時間)

責任者：生江 麻代
学年・学期：第2学年・前期/後期

◆一般目標(GIO)

第1学年で学習した血液学の知識を再確認する。

血球形態・白血球特殊染色・溶血系検査・血沈検査・血小板凝固機能検査など、臨床検査の現場に直結した測定原理も詳細に勉強する。各種血液疾患の定義・病態生理・診断に必要な染色体検査・遺伝子検査を含む各種検査所見を理解する。

◆到達目標(SBOs)

1. 自動血球計数器の原理、問題点を理解する。
2. 普通染色の原理、種類、長所、短所や問題点を理解する。
3. 特殊染色の意義、染色性、血液疾患との関係を理解する。
4. 骨髓穿刺の意義、採取部位、検査内容を理解する。
5. 造血器腫瘍における染色体検査・遺伝子検査について理解する。
6. 血沈・溶血系検査の意義を理解する。
7. 末梢血液像や骨髓像により各種血液疾患を理解する。
8. 血小板・凝固・線溶系の意義を理解する。
9. 主な血小板・凝固系検査の意義・基準値などを理解する。
10. 血小板・凝固・線溶系の異常による疾患を理解する。
11. 血栓性素因について理解する。

◆学習方法

教科書を中心にプリントを用いて講義形式で行う。

◆評価方法

単元試験、定期試験で総合的評価を行う。

◆教科書

臨床検査学講座 『血液検査学』 奈良 信雄、東田 修二 編 医歯薬出版(株)

◆参考書

血液細胞症例集	日本臨床衛生検査技師会発行
病気が見える血液	メディックメディア発行
最新染色法のすべて	医歯薬出版株式会社
検査と技術 血液形態アトラス	医学書院発行

◆教員紹介

担当教員は検査センターでの勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	赤血球 ①	正常赤血球の形態・生化学・鉄代謝	生江
2	赤血球 ②	異常赤血球形態 赤血球指数	
3	赤血球 ③	赤血球に関する検査 (血球数算定・自動血球計数器)	〃
4	赤血球 ④	赤血球系疾患 (小球性低色素性貧血)	
5	赤血球 ⑤	赤血球系疾患 (正球性正色素性貧血)	〃
6	赤血球 ⑥	溶血検査・赤血球脆弱試験・血沈など	
7	赤血球 ⑦	赤血球系疾患 (大球性正色素性貧血)	〃
8	赤血球 ⑧	赤血球増加症	
9	白血球 ①	骨髄穿刺・骨髄の観察	〃
10	白血球 ②	白血球の形態異常・機能異常	
11	白血球 ③	普通染色・特殊染色・遺伝子・染色体検査	〃
12	白血球 ④	急性白血病 (FAB・WHO分類)	
13	白血球 ⑤	慢性白血病・特殊な白血病	〃
14	白血球 ⑥	骨髄増殖性疾患・骨髄異形成症候群	
15	白血球 ⑦	Mタンパク血症・多発性骨髄腫	〃
16	赤・白血球系⑧	赤血球・白血球総まとめ・関連問題	
17	止血機構①	血小板・血液凝固・線溶について	〃
18	血小板系②	血小板機能検査	
19	凝固系 ③	凝固・線溶系検査	〃
20	凝固系 ④	血小板機能異常に関する疾患	
21	凝固系 ⑤	凝固因子欠損・線溶亢進に関する疾患	〃
22	凝固系 ⑥	血栓性素因に関する疾患	
23	凝固系 ⑦	止血機構に関するまとめ・関連問題	〃